

<p>福祉用具個別援助へ 協会標準様式を作成</p>	<p>専門相談員協会</p>	<p>全国福祉用具専門相談員 協会(山下一平会長)は3 月27日、協会が作成した福 祉用具貸与サービスの個別 援助計画書の標準様式を発 表した。制度上は個別援助 計画の作成は義務付けられ ていないが、「福祉用具貸 与には貸しっぱなしの批 判もある。サービスの質へ</p>
<p>の取り組みをしつかりとし た書面という形で明らかに していきたい」と山下会長 は福祉用具専門相談員に活 用を呼びかけていく考え だ。</p>	<p>標準様式は、A3判1 枚。左半分は利用者の基本 情報と身体状況、住環境な どをまとめ、右半分はその 情報に基づく福祉用具利用 目標、福祉用具の機種と選 定理由、利用の留意点など を記載する様式になってい</p>	<p>る。ケアマネジャーや利用 者・家族への情報提供やサ ービス担当者会議での活用 を想定している。</p>
<p>既に個別援助計画を作成 している福祉用具事業者か らのヒアリングやケアマネ からの要望を元に様式を作 成した。</p>	<p>協会では今後、福祉用具 個別援助計画書を活用した 事例検討会や作成研修など を全国で実施し、普及・啓 発に努めていく考えだ。</p>	